

非選択性茎葉処理剤の 難防除雑草 [コヒルガオ・セイヨウタンポポ・ジャノヒゲ] に対する殺草効果

～効きめの長いラウンドアップハイロード～

非選択性茎葉処理剤は、生育期の雑草防除を目的に、水田や畑地、樹園地などの耕地から、農道、人家周りに至るまで広く使用されている。

主な非選択性茎葉処理剤を表-1に示したが、このほかに現在開発中の薬剤が数多くある。営農・技術センターでは、これらの薬剤の特性を把握するため、ポットや圃場でいろいろな雑草に対する効果を検討している。

今回は営農・技術センターで実施した試験のなかから、難防除雑草に取り

表-1 主な非選択性茎葉処理剤

薬剤名	有効成分	取扱メーカー
ラウンドアップハイロード	グリホサートアンモニウム塩 41%	モンサント
バスタ液剤	グルホシネート 18.5%	アベンティス、日産
ブリグロックスL	ジクワット 7%、パラコート 5%	ゼネカ
マイゼット	ジクワット 7%、パラコート 5%	大塚
ハービー液剤	ピアラホス 18%	武田、北興、明治
サンダーボルト	グリホサートトリメシウム塩 28.5%、ピラフルフェンエチル 0.19%	日農
タッチダウン	グリホサートイソプロピルアミン塩 41%	ゼネカ、クミ化
三共の草枯らし	グリホサートイソプロピルアミン塩 41%	三共
カルナクス	グリホサートイソプロピルアミン塩 41%	八洲
ポラリス液剤	グリホサートイソプロピルアミン塩 20%	塩野義、北興
オルゼット液剤	グリホサートトリメシウム塩 32%、ジクワット 1.9%	大塚



コヒルガオ

上げられること多いコヒルガオ、セイヨウタンポポ、ジャノヒゲに対する効果を紹介します。

【コヒルガオ】

ヒルガオ科の多年生雑草で、地下茎で繁殖する。つるを伸ばして作物に巻きつき、生育を阻害するため、畑地や樹園地ではやっかいな雑草のひとつである。



セイヨウタンポポ

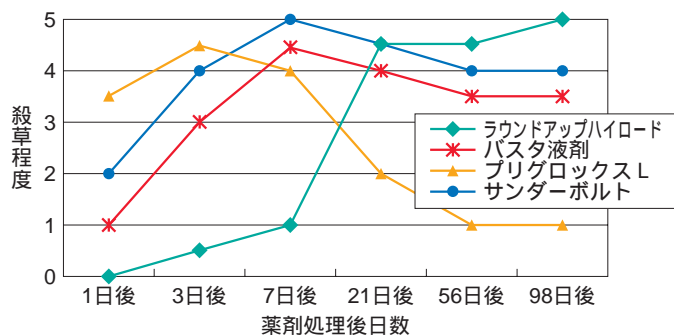


図-1 コヒルガオに対する殺草効果

供試薬量：ラウンドアップハイロード 500ml / 10a
バスタ 500ml / 10a
ブリグロックスL 1ℓ / 10a
サンダーボルト 500ml / 10a

散布水量：100ℓ / 10a

薬剤処理時の雑草の生育状況：つる長 20～40cm

殺草程度：0=効果なし、1=小、2=中、3=大、4=極大、5=完全枯死

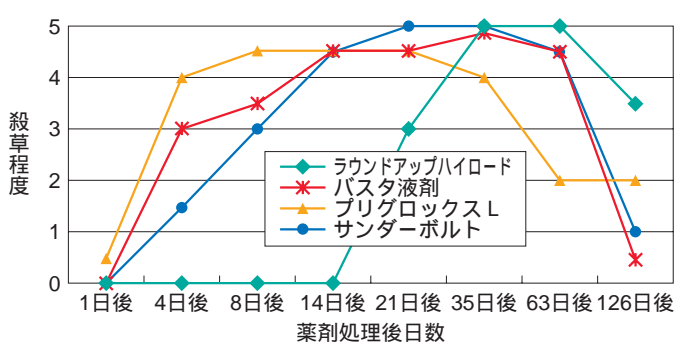


図-2 セイヨウタンポポに対する殺草効果

供試薬量：ラウンドアップハイロード 500ml / 10a
バスタ 500ml / 10a
ブリグロックスL 1ℓ / 10a
サンダーボルト 500ml / 10a

散布水量：100ℓ / 10a

薬剤処理時の雑草の生育状況：草丈 11～19cm (着蕾期)

殺草程度：0=効果なし、1=小、2=中、3=大、4=極大、5=完全枯死



ジャノヒゲ

ラウンドアップハイロードは、効果の発現は遅いものの、今回供試した3草種の生育を長期間抑制した。また、そのほかの薬剤も抑草期間に長短はみられるものの、3草種に対して殺草効果が認められた。ただし、いずれも多年生雑草であり、早い時期から再生が認められる薬剤もあったので、雑草管理のなかで有効な薬剤の体系防除を実施することが望ましい。

【全農 営農・技術センター
農薬研究部・藤原修治】

供試薬剤の殺草効果の進展には、それぞれ差がみられるものの、いずれもコヒルガオの生育を抑制した。ただし、プリグロックスLは、薬剤処理21日後以降、コヒルガオが再生したため効果が不十分となった(図-1)

【セイヨウタンポポ】

キク科の多年生雑草で、種子と根茎により繁殖する。種子は風によって飛ぶため、耕地や人家周りなど広く分布している。

ラウンドアップハイロードは、ほかの薬剤にくらべて効果の発現に時間がかかったが、いずれの薬剤も高い効果を示した(図-2)

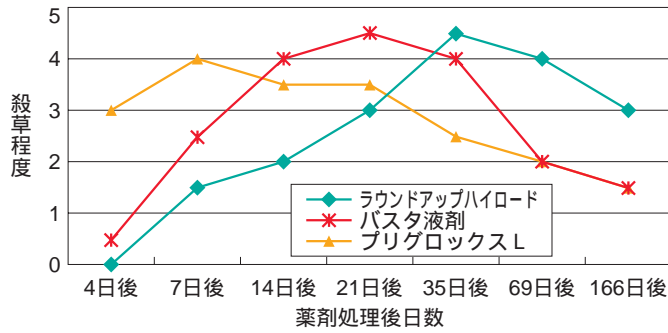


図-3 ジャノヒゲに対する殺草効果

供試薬量と散布水量：ラウンドアップハイロード 1ℓ(薬量)/25ℓ(水量)/10a
バスタ 1ℓ/100ℓ/10a
プリグロックスL 2ℓ/100ℓ/10a
薬剤処理時の雑草の生育状況：草丈7~15cm
殺草程度：0=効果なし、1=小、2=中、3=大、4=極大、5=完全枯死

【ジャノヒゲ】

ユリ科の多年生雑草で、ほふく茎を伸ばして繁殖し、地面を覆う。林地や人家周りなどの日当たりの悪い場所を好んで生育する。供試薬剤の殺草効果の進展には、それぞれ差がみられるものの、いずれもジャノヒゲの生育を抑制した。ただし、プリグロックスLでは、薬剤処理21日後にジャノヒゲの再生が認められた(図-3)